

## 第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

### 応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012 年 12 月 6 日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	(フリガナ)    アキタケンハツポウチヨウ  (団体名)        秋田県八峰町
応 募 担当者 連絡先	団体名：        秋田県八峰町  所在地：        〒018-2502 秋田県山本郡八峰町峰浜目名湯字目長田 118  部署名：        農林振興課 林業係  役職名：        主査  氏 名：        木藤 誠  TEL：            0185-76-4609      FAX：            0185-76-2203  E-Mail：        kito.makoto@town.happou.akita.jp
ホームページ	<a href="http://www.town.happou.akita.jp/index.php">http:// www. town. happou. akita. jp/ index. php</a>
応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）	

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

### 応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_data\\_list.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data_list.html)

#### 1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

「白神の恵み」を活かし、「白神の自然」を守るカーボン・オフセット 認証番号：C02-0028

#### 2. カーボン・オフセット活動の概要

##### <カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

##### 【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver. 1.1)」に基づく分類

[http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki\\_jun.pdf](http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf)

##### <カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、〇〇、〇〇の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

3①-3に記載した算定範囲と同じ。

##### <カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続していた事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外

2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有

2012年3月15日以降、現在も継続中（終了時期未定）の場合 ⇒応募資格有

2012年11月22日～2013年11月21日。

### <カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社 HP 等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URL を記載願います。

## 3. 1次審査項目

### ①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

#### (自己活動オフセット支援以外の場合)

##### ①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

【例】製品〇〇〇について LCA を実施、排出量は 1 製品あたり〇〇〇kg

【例】イベント開催における、関係者の交通移動、会場の使用電力量、廃棄物処理に伴う排出量、算定方法については環境省の算定ガイドラインを用いた。総量〇〇トン

##### ①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

【例】電力使用量、ガソリン使用量、

#### (自己活動オフセット支援の場合)

##### ①-3 利用者に帰属する排出対象活動

【例】利用者の 1 日の日常生活に伴う排出量 〇〇kg

【例】購入製品使用時に伴う利用者に帰属する排出量のうち購入後 1 年分に当たる、〇トン。商品販売時に顧客に提示。一人あたりのキッチンから排出される CO2 排出量の 20 日分をオフセット。「八峰白神の塩」100g 1 パックで 5kg。

##### ①-4 利用者に対する排出量の提示方法

キャンペーンチラシ等を作成し、商品販売時に周知していく。

### ②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください(複数可)。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電  節水  廃棄物の減量化  省電力機器の導入  公共交通機関の利用・呼びかけ

その他(具体的に 八峰町内の林地等で発生した残材を、海水煮沸用ボイラーの燃料としている。)

### ③オフセットの手続き

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合(%)についても記載してください。【例】J-VER(〇%)、GER等(△%)など

J-VER クレジットを 100%使用している。

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

記載例： 〇〇地域連携による間伐促進型森林づくり事業、  
〇〇による木質ペレットボイラーでの温室効果ガス排出削減事業、  
〇〇国における風力発電プロジェクト CDM プロジェクト番号・・・  
白神山麓・八峰町有林 J-VER プロジェクト

#### <カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。  
2012年10月25日、プロバイダーを通じてクレジット移転。  
2012年10月29日、無効化実施済。

## 第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

### 応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第 1 回カーボン・オフセット大賞の 1 次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : [http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry\\_datalist.html](http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html)

#### 1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ①CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。
- ②CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

八峰町では 2009 年 2 月に「八峰町地域省エネルギービジョン」を策定し、省エネを推進しながら、CO2 排出削減を町民に呼び掛けてきている。

また、2010 年から八峰町有林の間伐を活用して J-VER プロジェクトに取り組み、2011 年からクレジットを販売してきたところであるが、地場の豊富な農水産物を活用してクレジットの「地産地消」を取り組むことにより、CO2 排出削減をより多くの人々に認知してもらえることをめざしている。

また、クレジットを活用する農家などが、今後、リサイクルの推進や木質バイオマスエネルギー活用など、CO2 を排出しない取り組みに参画してもらえるよう、今回のカーボン・オフセット認証の取組みを通じて協力を得られるようにしていきたい。

#### 2. カーボン・オフセットの内容

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について、社会にもたらす波及効果などの観点も踏まえてアピールしてください。
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについてアピールしてください。

J-VER クレジットを地場の農水産等の特産品に付加することによって、J-VER クレジットの「地産地消」を行い、その商品を、CO2 の大量消費地である都市圏向けに販売する「地産都消」を行うことにより、削減が困難と言われる「生活における排出削減」をさらに推進させ、低炭素化社会の構築に貢献していきたい。

クレジットの売却資金を森林に還元することによって、八峰町で取り組んでいる森林整備、地球温暖化防止事業、林業振興をさらに進め、森林等における CO2 吸収促進をさらに進めていきたい。

また、今回の「八峰白神の塩」をきっかけとして、町の他の特産品にも J-VER クレジットを付加して販売し、農水産物などの消費拡大による第一次産業の活性化につながれば、と考えている。

### 3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

1. 「環境に何らかの形で貢献したい」という消費者ニーズ（EVI 調べ）に、カーボン・オフセット付農水産物等を受け入れてもらうことによって、消費者ニーズに応えうるものができ、かつ、地場産業の活性化につながることを期待できる。
2. 今回、八峰白神自然食品に協力をいただいて取り組んだ、カーボン・オフセット認証事業が、町内外の他企業等でも取り組む事例として示すことができ、行政だけではなく、民間での取り組みの拡大につながることを期待される。
3. 地場の J-VER クレジットを活用することによって、クレジット資金を地元の取組み（森林整備、地球温暖化防止、林業振興）に還流させることができる。

### 4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。
- ②人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

※認証を取得して日が浅いため、具体的な取り組みはこれからになります。

1. インターネット発信や、首都圏等で開催される「物産フェア」等に参加して、カーボン・オフセット付「八峰白神の塩」の展示販売を行うことによって、制度の普及と排出削減の取組みを理解してもらう。
2. 地元のマスコミ（新聞・テレビ・ラジオ等）で取り上げてもらい、「カーボン・オフセット制度」「オフセット商品」について理解を深めてもらう。

## 5. ストーリー性

- ①自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。
- ②こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

### 1. 地場特産品とカーボン・オフセットで「官民連携」

本年、環境省の支援事業を活用して、地元の企業の協力をもらい、カーボン・オフセット付商品の開発に取り組むことができた。販売についてはこれからの取組みになっていくが、そこで得られるノウハウを、町内外の民間事業者等と共有し、カーボン・オフセットの官民連携で「低炭素化社会の実現」と「地域の売り込み」に活かしていく。

### 2. クレジットの地場活用と森林保全

今回の認証事業で活用した「白神山麓・八峰町有林 J-VER クレジット」は、世界自然遺産の一つである「白神山地」の麓に存在する八峰町有林の間伐から生まれている。

また、八峰町の農水産物は、その多くが白神山地に端を発する水資源を活用しているものであり、認証事業に取り組んだ「八峰白神の塩」は、白神山地からの清流が注ぎ込まれた日本海の海水と、地場の林地等で発生した残材を煮沸用ボイラーの燃料として利用するなど、自然の恵みを余すことなく活用している。

地元で生まれたクレジットを、地元の企業等が活用し、そこで得られる資金を、八峰町が管理する「自然再生基金」を通して、植樹や間伐、間伐材の利活用といった森林保全の活動に寄与することによって、消費者が「白神の自然」を守ることにつながるストーリーになる。

### 3. カーボン・オフセット商品の利用で CO2 削減

「環境に何らかの形で貢献したい」という消費者ニーズに応え、削減困難と言われる「生活による排出の削減」を達成するためには、八峰町のように豊富な資源を持つ山村地域が、カーボン・オフセット商品に取り組んで（販売して）いくことによって、CO2 の削減を推進し、低炭素化社会の実現に寄与していきたい。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

## 第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail [award@carbonoffset-network.jp](mailto:award@carbonoffset-network.jp)